＜開倫ユネスコ協会主催＞　　2026 年 10月吉日

開 倫ユネスコ協会設立25 周年記念式典·「ユネスコ世界哲学の日」記念講演会

『 価値·意味·秩序』、今、哲学しよう！
ー哲学なくして、ユネスコなし、世界平和なしー

開倫ユネスコ協会
会長　林明夫

毎 年、11月第 3木曜日は、国際連合が定めた「ユネスコ世界哲学の日」です。 2026 年 1月、設立25 周年を迎えた開倫ユネスコ協会では、「ユネスコ世界哲学の日」に、本 年も記念講演会を開催いたします。「 戦争は心の中で起きるものであるから、心の中に、平和の砦を築かなければならない」という「 平和を願う心」を大切にしながら、「価値、意味、秩序、今哲学しよう」をテーマに、 本年も、「世界哲学の日記念講演会」を、開倫ユネスコ協会創立25 周年記念式典と合わせて、開催させていただきます。

また、 2001 年 1月に日本ユネスコ協会連盟から承認いただいた開倫ユネスコ協会は、皆 様のおかげで、本年設立25 周年を迎えることができました。 ありがとうございます。心から感謝いたします。
お 忙しいとは存じますが、ぜひ、ご参加の栄を賜りたく、ご案内申し上げます。

記

○ 日時：2026 年 11月18日（水）正午~14 時 30 分
○ 会場：足利商工会議所友愛会館 1 階友愛ホール
　　栃木県足利市通り 3 丁目2757　電話 0284－21－1354
　　東武伊勢崎線足利市駅から徒歩で 10 分

○ 開倫ユネスコ協会創立25 周年記念式典
○ **講演会第一部**
　　世界を魅了する働く人の自主性を尊重する「足利流 5 S」の国際性

○ 講師　　川浪年子氏（国際ビジネスコンサルタント）

○ 足利市は、「 5 S の街」として、「5S」に関心を持つ多くのビジネスマンの「聖地」 ともなっています。15 年前から行われている「5S 世界サミット」や「 5 S サミット」、「5S インストラクター研修会」や、国内外からの「5S 視察受け入れ」など 様々な取り組みの組み合わせによるイノベーションの成果と考えられます。 働く人の自主性を尊重する、この「足利流 5 S」を日本国内外に広めているのは、足利商工会議所の「足利 5 S 学校」と「足利流 5S に特化したコンサルタントの先方」、それに、海外からの経営幹部視察団をどんどん足利にお連れし、同時に、スリランカ はじめ、アジア·アフリカ諸国に「足利流 5S」を紹介し続けている、川浪氏です。
○ 今回の講演では、日本式経営の極致ともいわれる「足利流 5S 」が、世界各地でどの

ように評価され、お役に立っているかを、ご報告いただき、足利や日本の将来、日本 の 潜在可能性を、皆様と共に語りたく存じます。
○ 川浪氏は、米国の Dupon 本社、在日英国大使館人事部長など経て、国際人事コンサル タント、海外ビジネス幹部の日本研修の専門家。スリランカ 5S 国内大会審査委員。

○ **講演会第二部**　「 経営理念を、働く人一人一人が、自分の価値観（大切にするもの）で、自分から 進んで翻訳し、自分の夢や希望を実現するためにお客様と接し、モノやサービスを 提供。結果的に、お客様から喜ばれ、業績の大幅アップに貢献するには、何を どうしたらよいか、具体的に考える」

○ 講師：リスペクト代表、岡田裕二氏。

○ 経営理念を働く人、一人一人の大切にするもので、翻訳、自己実現と、業績向上に 結び付ける、「経営理念専門コンサルタント」。 超大手アパレル製造販売企業や、大手自動車製造販売企業をご指導。

○ 参加費：無料

○ 終了後、簡単な、懇親会、意見交換会、名刺交換会を行います。名刺をご持参ください。

○ 開催形式：「BBL方式」です。お飲み物や簡単な昼食は、ご自分でご持参ください。
○ 参加お申込み：2026 年 11月17日までに、開倫ユネスコ協会事務局、または、
開倫ユネスコ協会　林明夫まで、メールまたは電話でお申し込み下さい。
参加者全員の氏名（フルネーム）とご所属、メールアドレス、携帯番号。
メール：hayashiakiokairin@gmai.com（ 林明夫）

○お 問い合わせ先：開倫ユネスコ協会事務局
〒 326-8505　栃木県足利市堀込町 145 電 話:0284－72－5945、　0120－066555
開 倫ユネスコ協会会長　林明夫、090-2664－1728

開倫ユネスコ協会創立25周年に寄せて

日本の平和･世界の平和

足利の５Ｓと“スリランカ”を結ぶ不思議な縁

United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization

United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization

UNESCO NGO JAPAN
開倫ユネスコ協会

川浪年子

理念経営の本質

『理念浸透』ではなく
『自己翻訳力』による『理念活用』
～理念行動化が必然的成果をつくる～

2026年11月18日（水）

講師：岡田 裕二　　株式会社リスペクト

講師について

■リクルーティングビジネス時代：トップインタビューを通し
「理念」と「企業成長」の重要な関係に強い関心を抱く

■2002年リスペクト設立：制度や形に縛られ委縮する組織人の現状に問題意識。
「個の理念」明確化によるその人本来の最大生産性発揮をミッションにスタート

■リスペクト設立から現在：普遍的な人間としての自分（内面）を振り返り⇒

（検証）ユング心理学⇒河合隼雄心理学⇒西田幾多郎哲学＝

「意識と無意識を統合した創造が理念経営によるビジネス」

主な実績

- 大手メーカー（飲料・音響・自動車など）
- 国内自動車メーカー系ディーラー（ディーラー・全国労働組合）
- 医療法人
- ベンチャー（IT・名刺管理・ペット保険・再生可能エネルギーなど）
- 商社（食品・鉄鋼ほか）
- グローバルアパレル（SPA）
- サービス（飲食業・ホテル・アミューズメントほか）
- 団体（東京商工会議所・東京都中小企業振興公社・栃木県生産性本部ほか）

など幅広い業種・規模の企業・団体において

- 企業理念開発
- 企業理念運用
- 管理職研修
- 新入社員理念研修
- 組織変革プロジェクト

などを実施。特に某自動車メーカー系ディーラーでは創業以来、全国規模で
理念研修・通信教育を継続実施

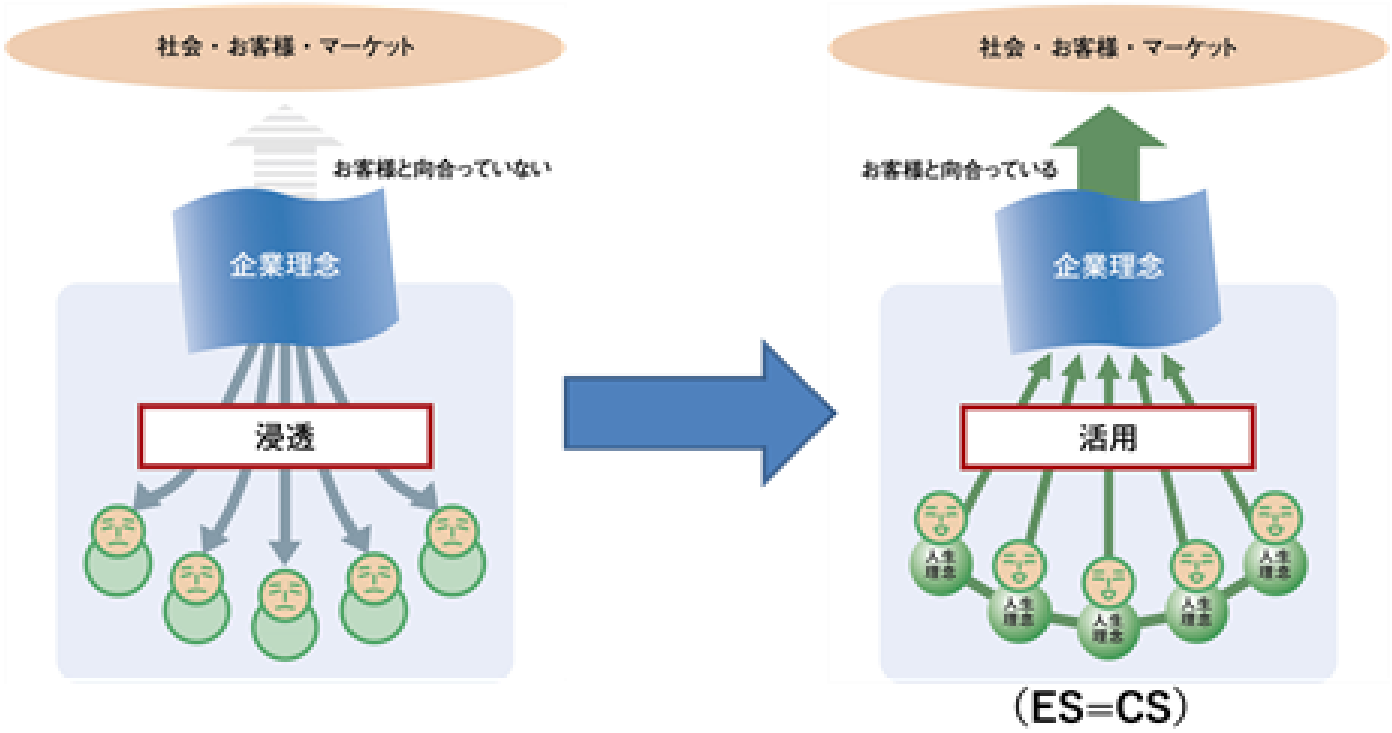
サービス



https://www.respect-mission.com/

目指す姿

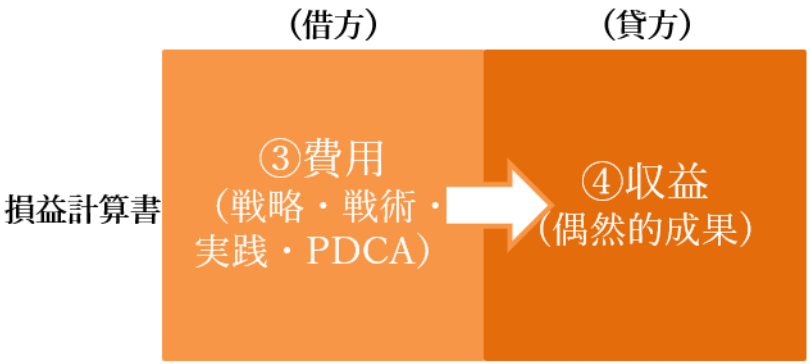
「理念」は「浸透」ではなく⇒「活用」※自己翻訳が基本



（ES=CS）

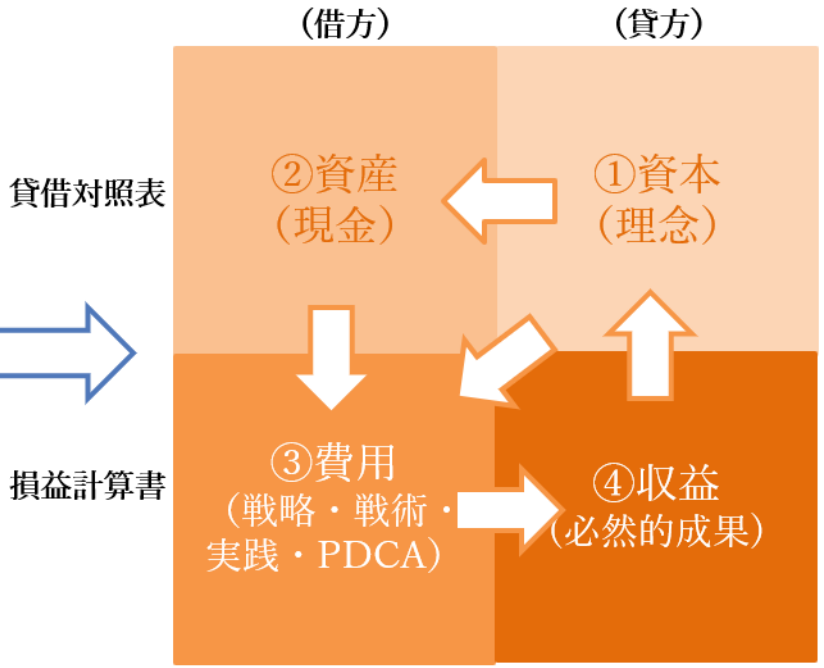
理念と会計図

【PL経営】



「④収益（儲ける）の為」の
③費用（戦略・戦術・実践・PDCA）

【BS・PL経営】

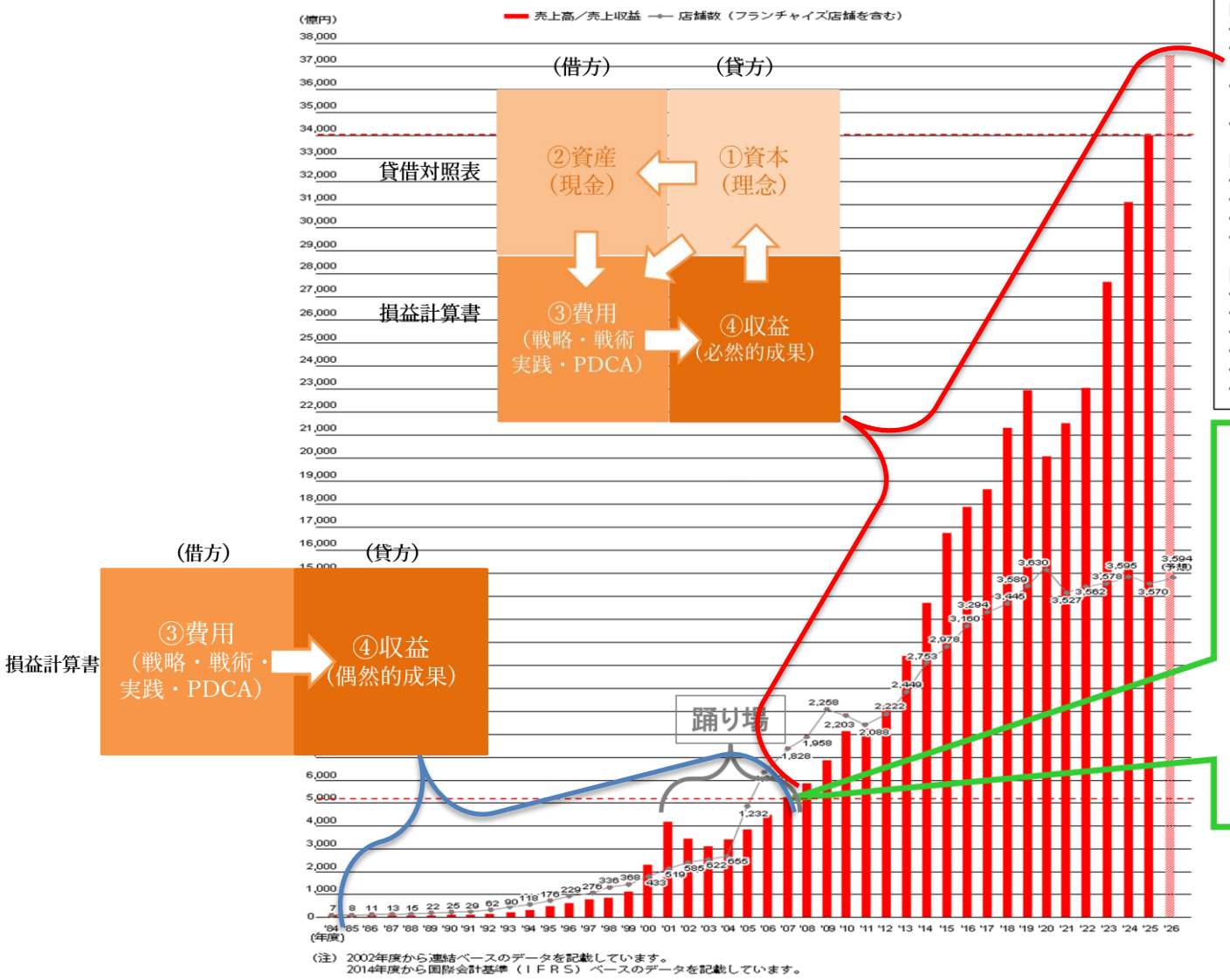


「一貫した①理念実現の為」の
③費用（戦略・戦術・実践・PDCA）
だから必然的に④収益（儲かる）

理念経営と業績

参考資料

ファーストリテイリングの売上高の推移



（注）2002年度から連結ベースのデータを記載しています。
2014年度から国際会計基準（ＩＦＲＳ）ベースのデータを記載しています。

【ステートメント】– Statement
服を変え、常識を変え、世界を変えていく

【ファーストリテイリンググループのミッション 】– Mission
- ファーストリテイリンググループは–
- 本当に良い服、今までにない新しい価値を持つ服を創造し、世界中のあらゆる人々に、良い服を着る喜び、幸せ、満足を提供します
- 独自の企業活動を通じて人々の暮らしの充実に貢献し、社会との調和ある発展を目指します
- ファーストリテイリンググループのミッション とは

【私たちの価値観】– Value
- お客様の立場に立脚
- 革新と挑戦
- 個の尊重、会社と個人の成長
- 正しさへのこだわり

【私の行動規範】– Principle
- お客様のために、あらゆる活動を行います
- 卓越性を追求し、最高水準を目指します
- 多様性を活かし、チームワークによって高い成果を上げます
- 何事もスピーディに実行します
- 現場・現物・現実に基づき、リアルなビジネス活動を行います
- 高い倫理観を持った地球市民として行動します

2008
『FAST RETAILING WAY』
制定。(5ヶ国語翻訳)

売上5000億円

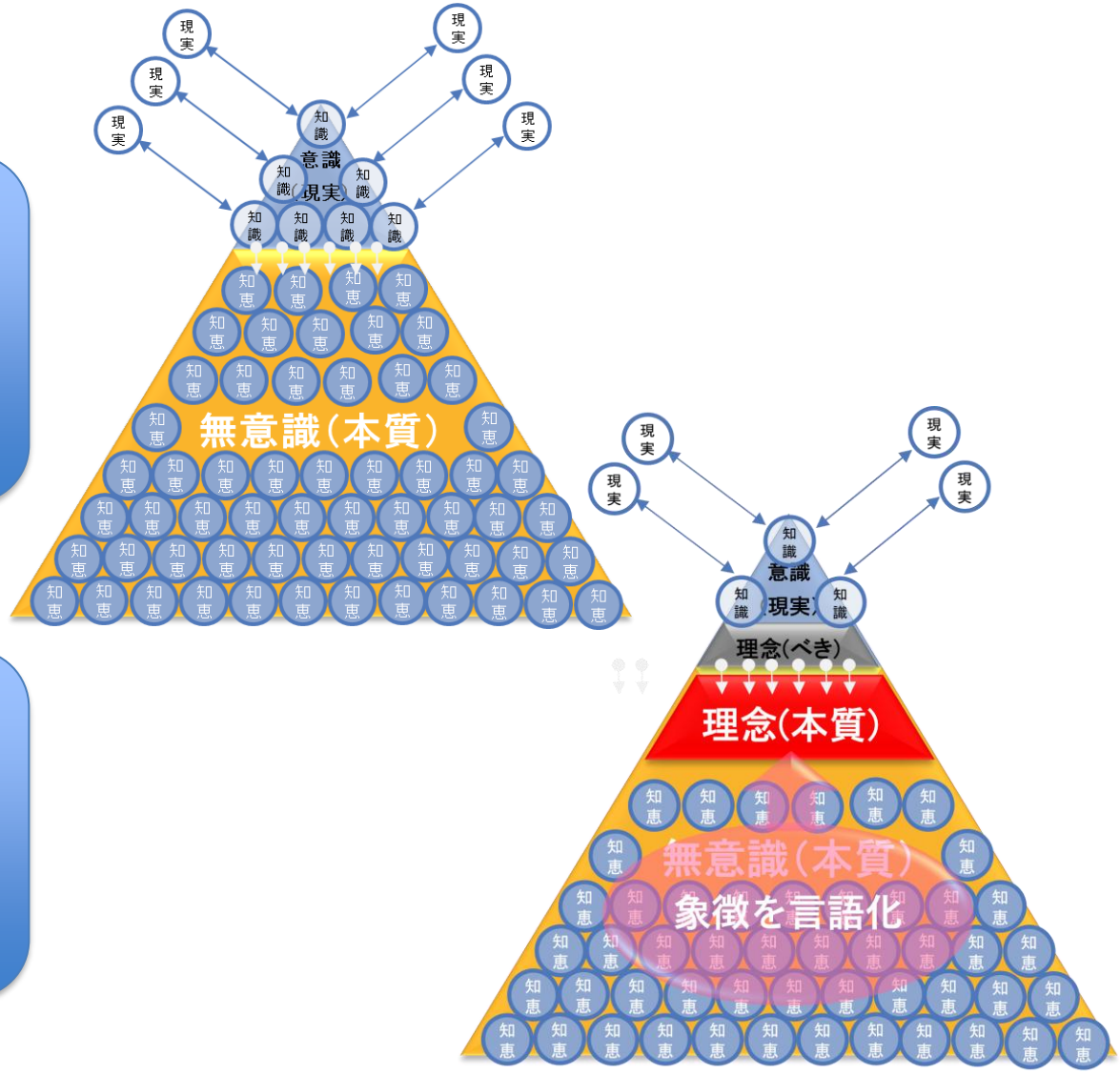
⇓

2025
（13ヶ国語翻訳）
売上3兆4000億円

『理念』は“あなた”の中にある

経験から得た本質を
膨大な無意識データとして
蓄積している

「理念」は普遍的無意識データ
（イメージ）の象徴を言語化したもの



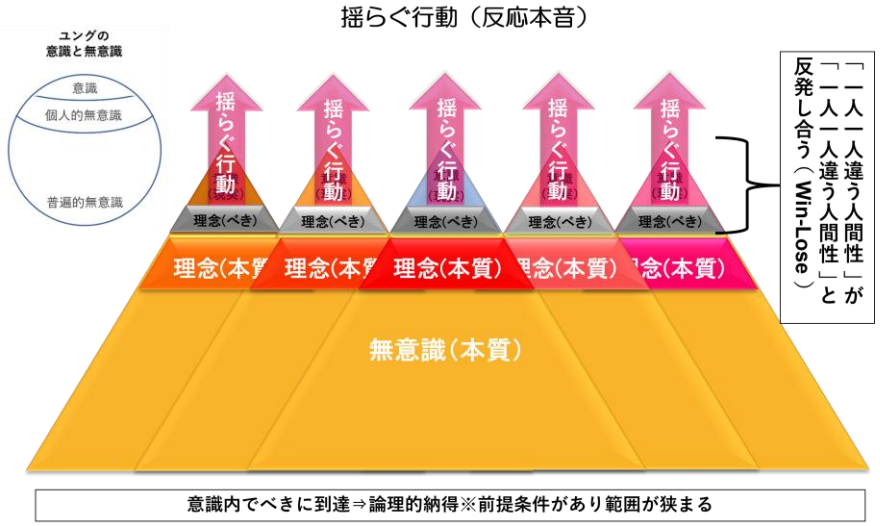
『理念』は2種類ある

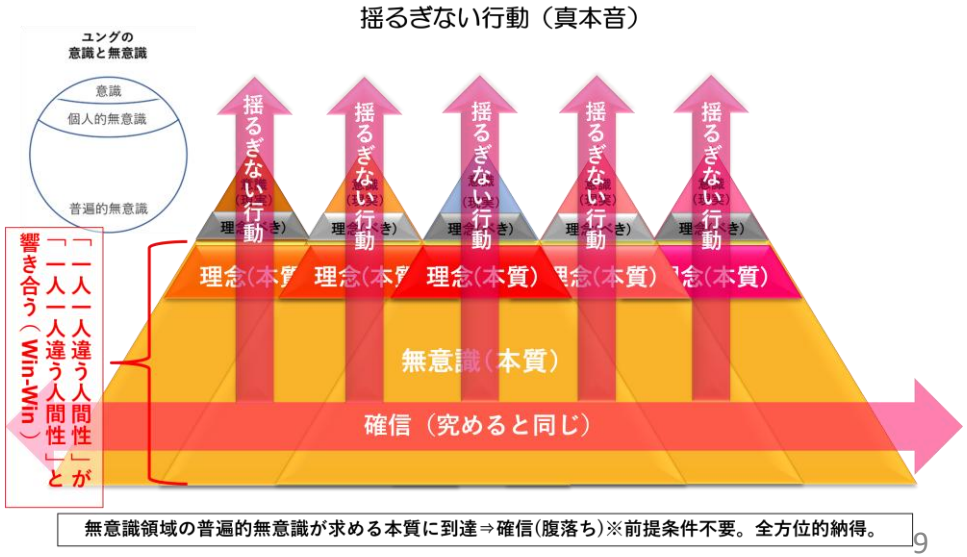
論理的に突き詰めた「べき理念」

～完全に違いを突き詰めるため不安になる～

無意識から引き上げた「本質理念」

～共通の本質から独自性を表演するため安心する～





『本音』は2種類ある

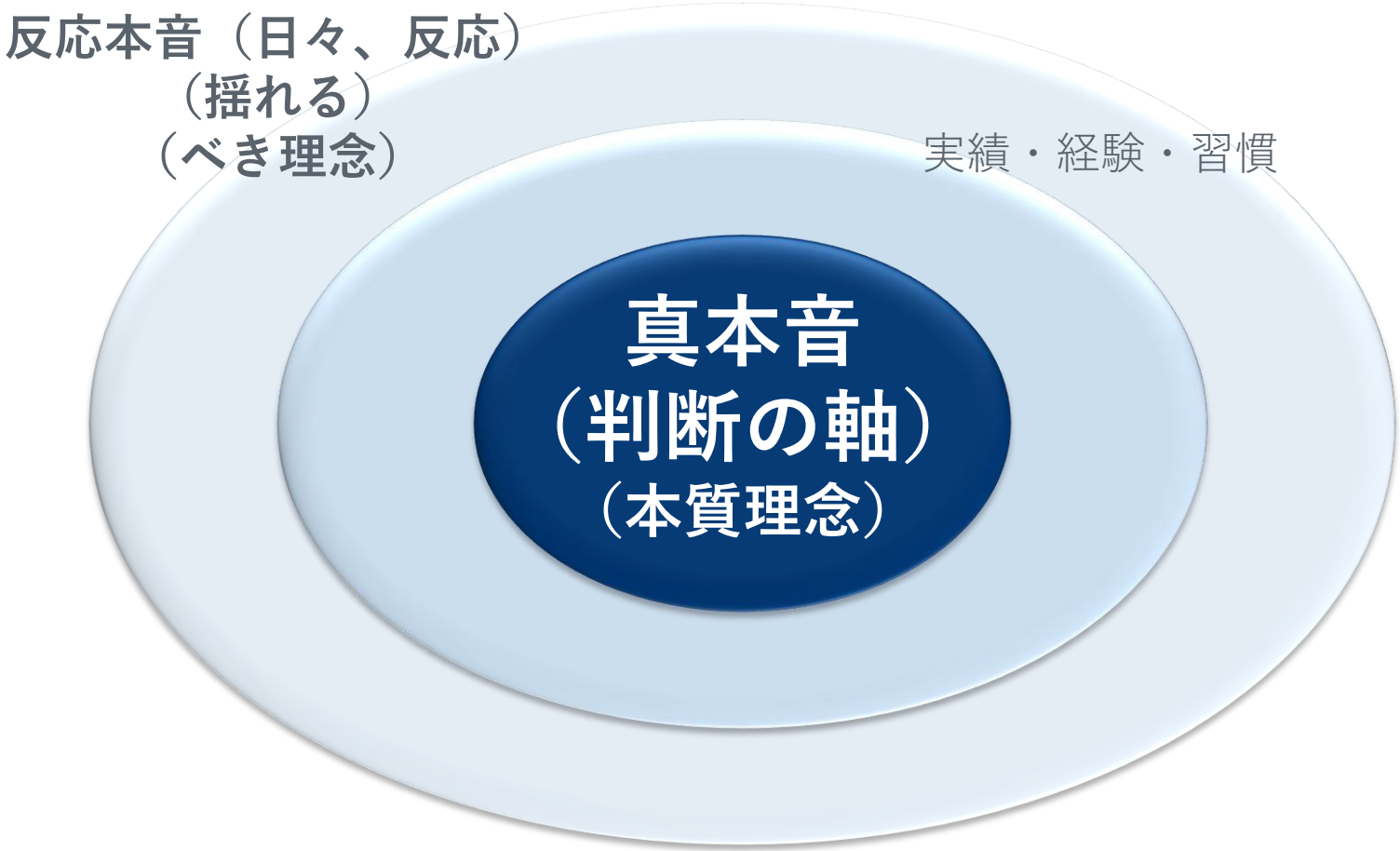
反応本音
（べき理念）

出来事に反応して
瞬間的に揺れる心

真本音
（本質理念）

自分が本来
人として大切にしたい心

『真本音』が『判断の軸』

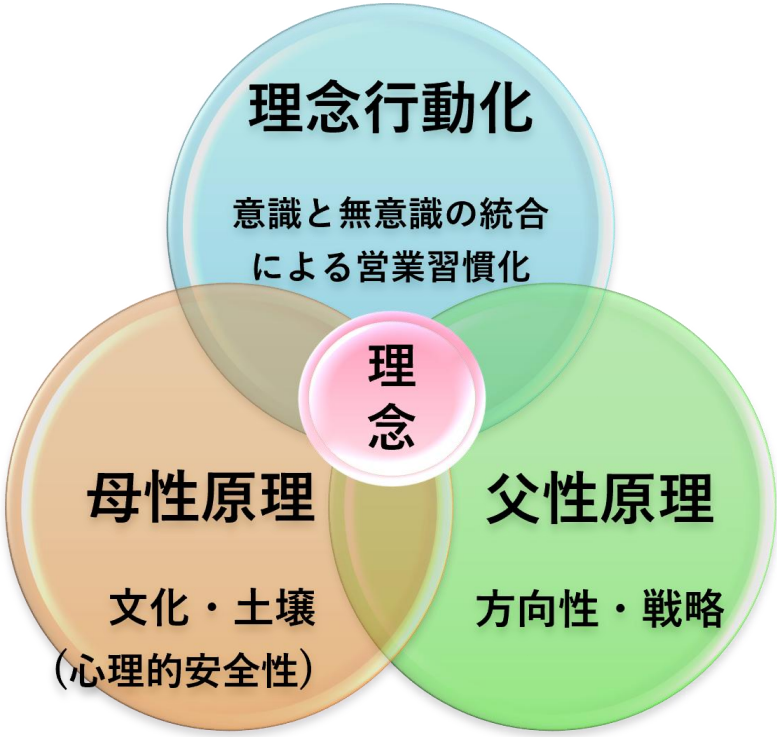


『建設的意見交換』が自然

「意見の対立」は不自然

「建設的意見交換」が自然

母性原理（包容力）父性原理（方向性・戦略性）
は人間の本来機能



『在り方（理念）』⇒『環境分析』⇒『やり方』

「在り方（理念）」

「環境分析」

「やり方」

【在り方】

（2008年9月1日制定時5か国語）⇒（2022年7月現在13か国語に翻訳）

ステートメント — Statement

服を変え、常識を変え、世界を変えていく

ファーストリテイリンググループのミッション — Mission

ファーストリテイリンググループは―

■本当に良い服、今までにない新しい価値を持つ服を創造し、世界中のあらゆる人々に、良い服を着る喜び、幸せ、満足を提供します

■独自の企業活動を通じて人々の暮らしの充実に貢献し、社会との調和ある発展を目指します

私たちの価値観 — Value

■お客様の立場に立脚
■革新と挑戦
■個の尊重、会社と個人の成長
■正しさへのこだわり

私の行動規範 — Principle

■お客様のために、あらゆる活動を行います
■卓越性を追求し、最高水準を目指します
■多様性を活かし、チームワークによって高い成果を上げます
■何事もスピーディに実行します
■現場・現物・現実に基づき、リアルなビジネス活動を行います
■高い倫理観を持った地球市民として行動します

（本質的P〈計画〉）

【やり方】

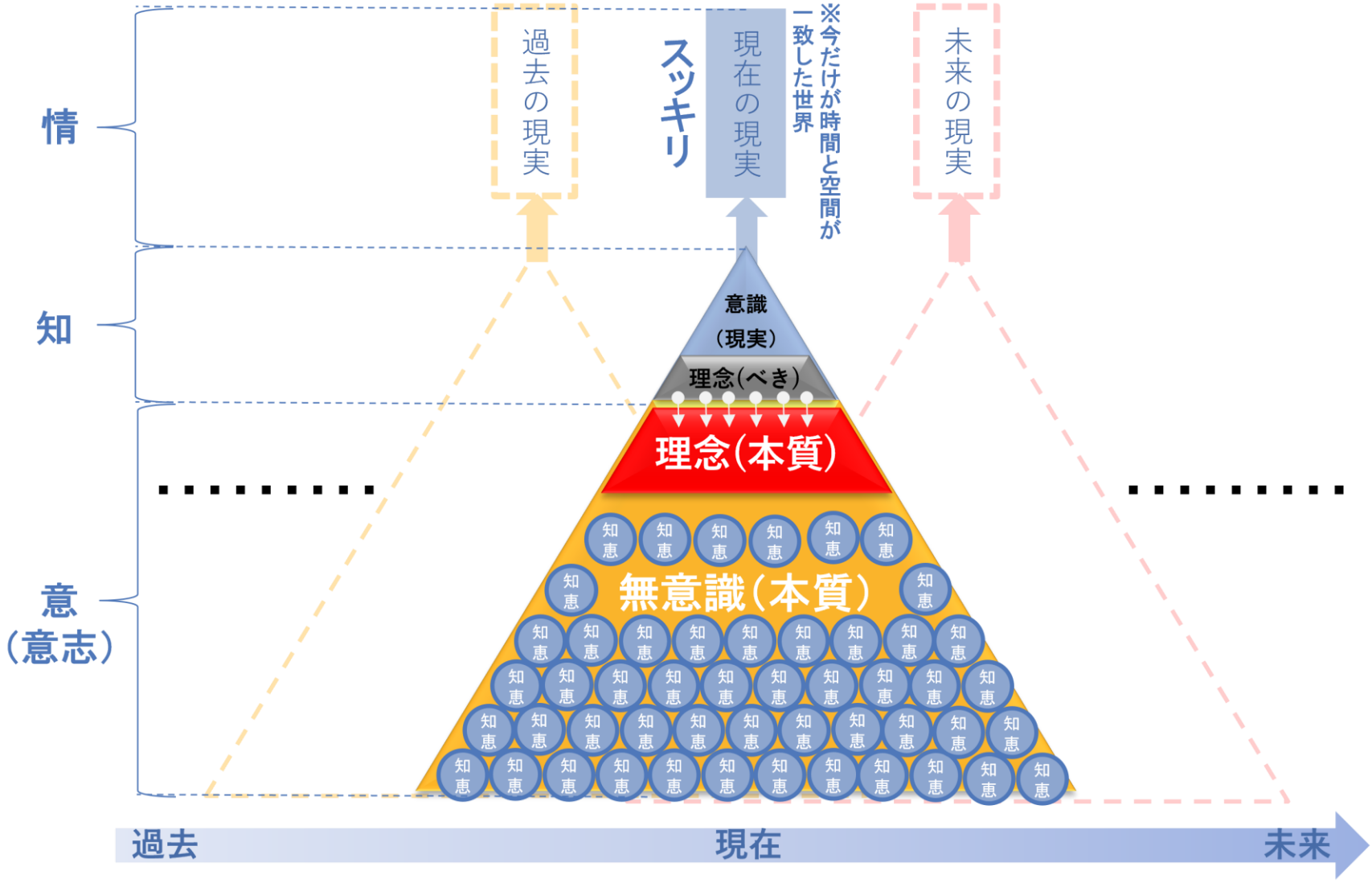
〈読売新聞 2013.11.2〉



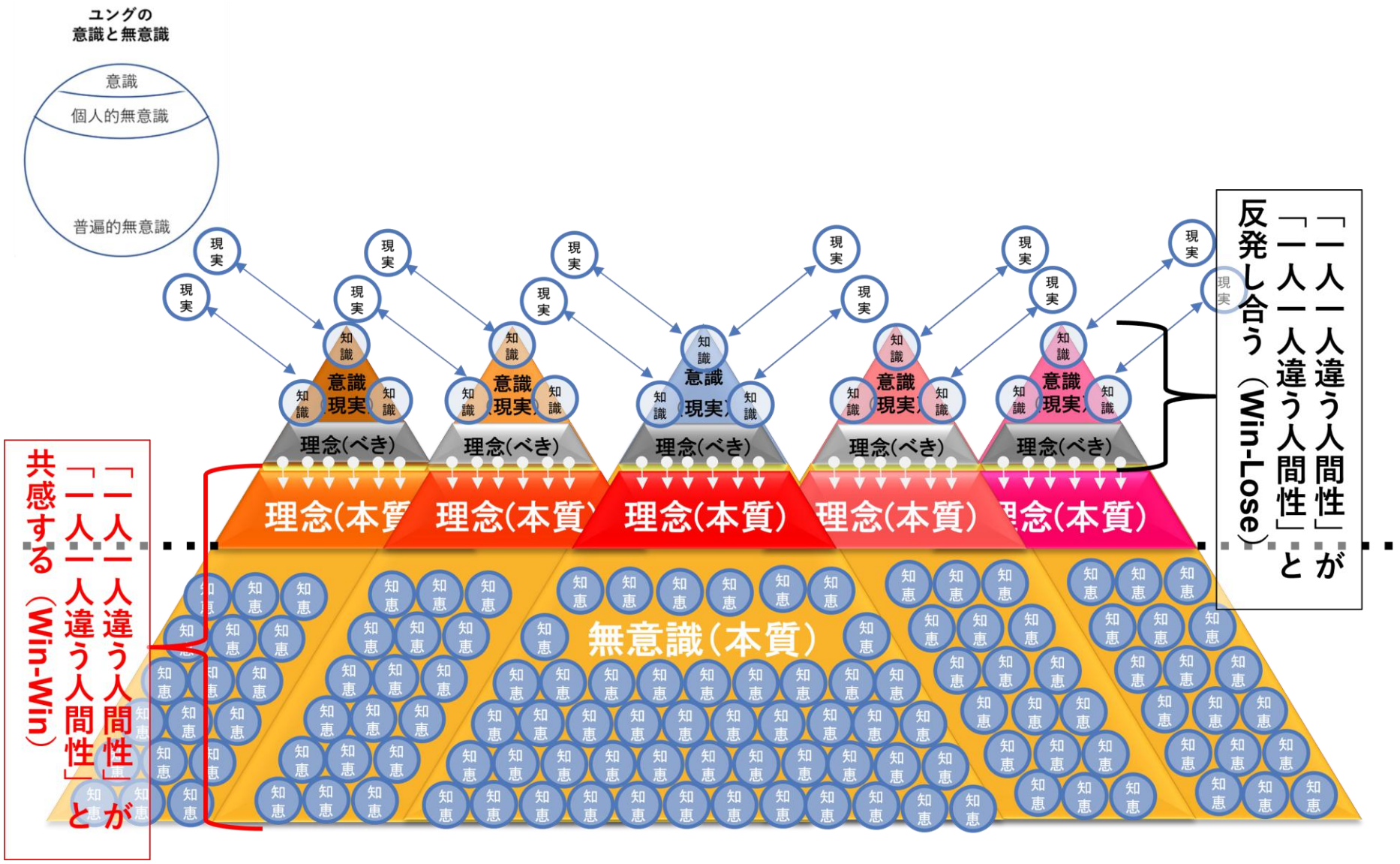
（現実的P〈計画〉）

『今』しかない

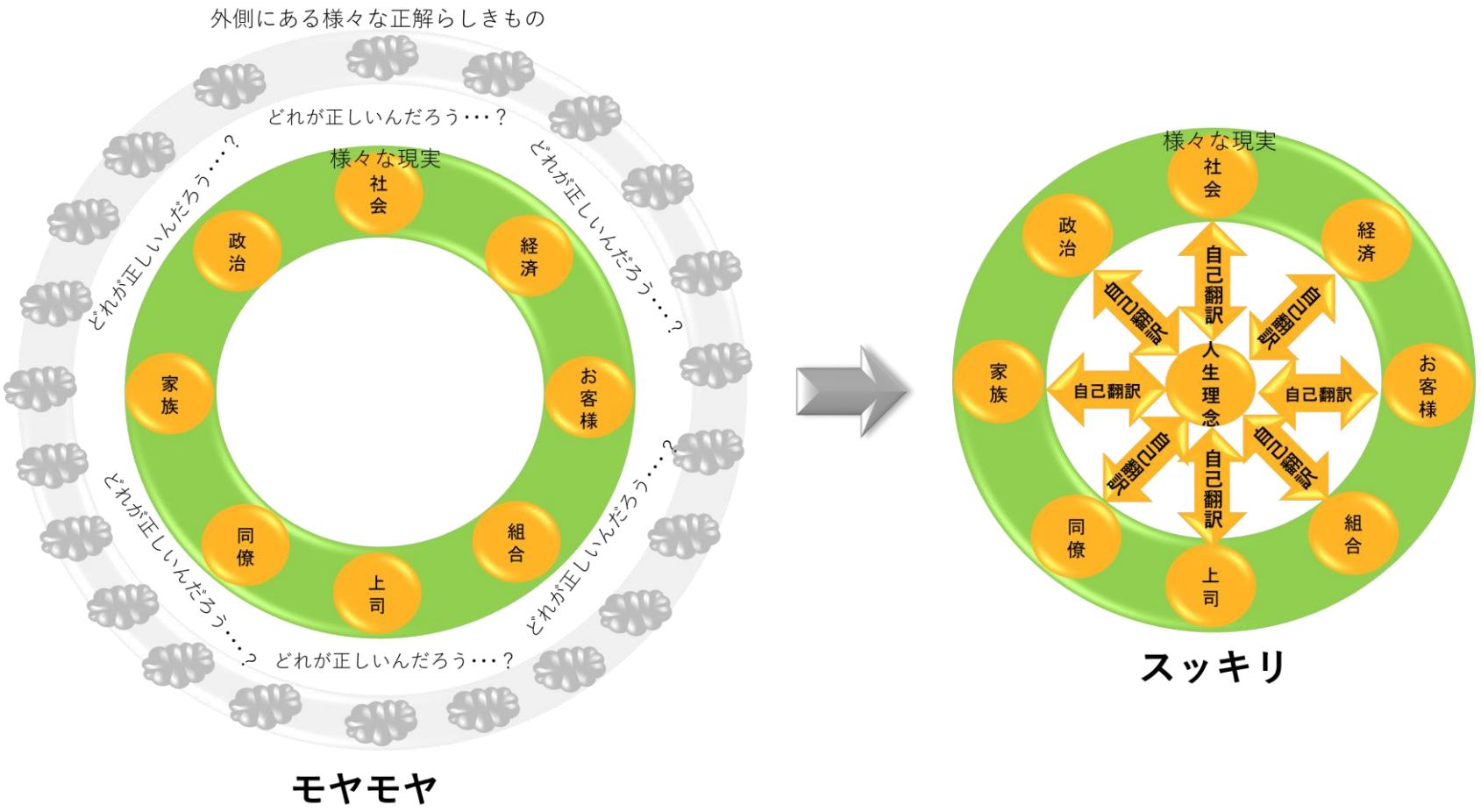
現実に影響を与えられるのは「今」だけ。「今」スッキリしているかどうか。



『理念』皆同じ、『言葉』が違うだけ



「理念」が自己翻訳を可能にする

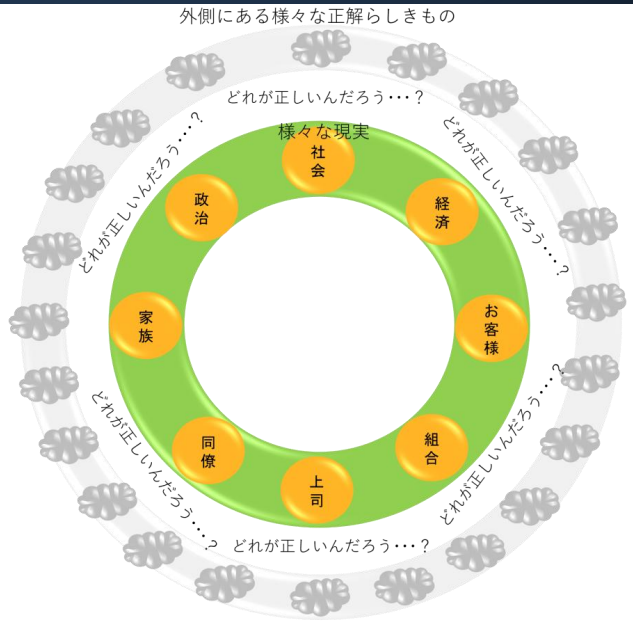


「理念経営」の発展段階

① 個が「人生理念」の活用により理念活用法を腹落ちする

② 「人生理念」と「企業理念」は言葉が違うだけで本質は同じ事に気づく

③ 「人生理念＝企業理念」視点であらゆることを腹落ちさせる「自己翻訳力」を修得



モヤモヤ



スッキリ

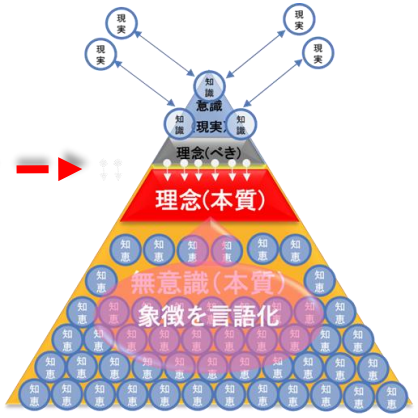
理念行動化の実践構造（Respectモデル）

① 「人生理念」開発・運用

② 「企業理念」開発・運用

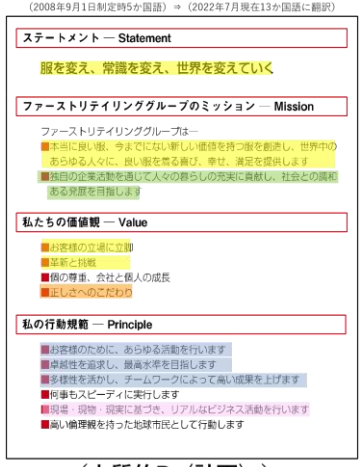
③ 「人生理念＝企業理念」運用

④理念行動化





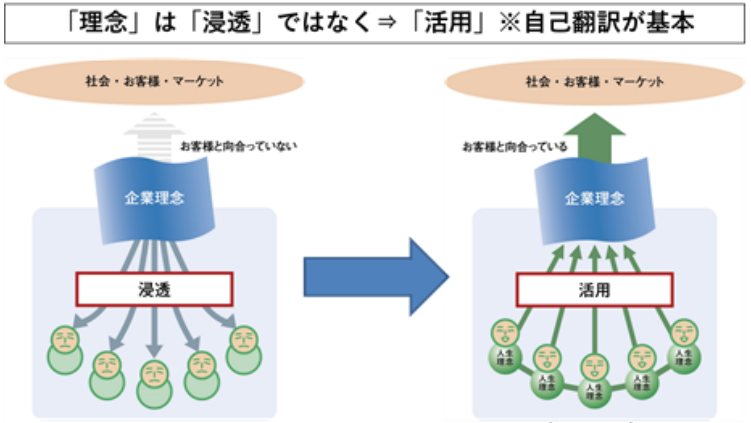
スッキリ



（本質的P〈計画〉）



（現実的P〈計画〉）



（ES=CS）

まとめ

人間は皆無意識に同じ本質の理念を持っている

無意識の理念を言語化（理念開発〈個⇒法人〉）

言語化した理念を活用（理念運用〈個⇒法人〉）

理念活用法は本来的機能のため日々自然に継続向上

Respect Mission Philosophy

理念 × 無意識 × 行動 ＝ 組織の生成力

株式会社リスペクト
東京都千代田区麹町3-12-6
https://www.respect-mission.com/
TEL 03-3511-2556 / r0001@respect-mission.co.jp

理念経営の本質

「理念浸透」ではなく「自己翻訳力」による「理念活用」

～理念行動化が必然的成果をつくる～

2026 年 11 月 18 日（水）　講師：株式会社リスペクト　岡田 裕二

1　理念経営が目指す姿

社員一人ひとりが理念を活用し、お客様・社会に目を向けて主体的に行動する。
「収益を上げるための活動」から「理念実現のための活動」へ転換する。
理念 ⇒ 戦略・戦術 ⇒ 実践・PDCA ⇒ 必然的成果という経営を目指す。



メモ

2　理念は すでに自分の中にある

人間は経験から得た本質を、膨大な無意識データとして蓄積している。
べき理念：論理的に考え、外から求められる「こうあるべき」という理念。
本質理念：無意識にある、人間として本来大切にしたいことを言語化した理念。

メモ

3　反応本音と真本音

反応本音：出来事に瞬間的に反応し、揺れ動く心。
真本音：自分が本来、人として大切にしたい心。
真本音を「判断の軸」にすることで、主体的な判断と行動が生まれる。

メモ

4　人間の本来機能を発揮する

母性原理＝包容力：相手を受け止め、理解し、尊重する機能。
父性原理＝方向性・戦略性：目的を明確にし、進む方向と方法を考える機能。
二つの機能が発揮されることで、意見の対立を超えた建設的意見交換が生まれる。

メモ

理念経営の本質

「理念浸透」ではなく「自己翻訳力」による「理念活用」

～理念行動化が必然的成果をつくる～

5　本質的マネジメントの順序

在り方（理念）　→　環境分析　→　やり方



「やり方」から始めず、理念を起点に環境に合った方法を選択する。

メモ

6　理念の自己翻訳力が行動を変える

人生理念と企業理念は、言葉が違っても共通する本質がある。
企業理念を自分の人生理念に照らして腹落ちさせ、自分の言葉と行動に置き換える。



理念を覚える・浸透させることが目的ではなく、日々の判断と行動に活用することが目的。

メモ

7　理念経営の発展段階 Respect モデル

①「人生理念」の開発・運用　　②「企業理念」の開発・運用
③「人生理念＝企業理念」の運用　　④ 理念行動化による主体的実践と継続的向上

メモ

まとめ：理念は外から与えられるものではなく、自分の内面にある本質を言語化したもの。理念を自己翻訳し、今この瞬間の判断・行動に活用することが、理念経営の本質である。

The Essence of Philosophy-Driven Management

From instilling philosophy to using it through personal translation

Putting philosophy into action creates inevitable results

November 18, 2026 (Wed)　Speaker: Yuji Okada, Respect, Inc.

1　The aim of philosophy-driven management

Each employee uses the philosophy to act proactively, with customers and society in mind.
Shift from activities aimed at earning profits to activities aimed at realizing the philosophy.
Aim for management in which philosophy leads to strategy and tactics, practice and PDCA, and inevitable results.



Notes

2　Philosophy is already within us

People store insights gained through experience as a vast body of unconscious knowledge.
Prescriptive philosophy: Logically formulated ideals based on external expectations of how we should be.
Essential philosophy: Words expressing what we inherently value as human beings, rooted in the unconscious.

Notes

3　Reactive feelings and the authentic inner voice

Reactive feelings: Momentary emotional reactions to events that fluctuate with circumstances.
Authentic inner voice: What we truly wish to value as human beings.
Using this authentic inner voice as a guide for decisions enables self-directed judgment and action.

Notes

4　Activate our inherent human capacities

Maternal principle = acceptance: The capacity to accept, understand and respect others.
Paternal principle = direction and strategy: The capacity to clarify purpose and determine a path and methods.
Together, these capacities enable constructive dialogue that moves beyond conflicting opinions.

Notes

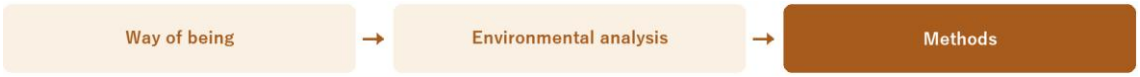
The Essence of Philosophy-Driven Management

From instilling philosophy to using it through personal translation

Putting philosophy into action creates inevitable results

5 The order of essential management

Way of being (philosophy) → Environmental analysis → Methods



Start with philosophy, then choose methods suited to the environment, rather than starting with methods.

Notes

6 Personal translation turns philosophy into action

Personal and corporate philosophies share an underlying essence, even when expressed differently. Relate the corporate philosophy to your own life philosophy, internalize it, and express it in your own words and actions.



The goal is to use philosophy in daily decisions and actions, rather than merely memorize or instill it.

Notes

7 Stages of development in the Respect model

① Develop and apply a personal life philosophy. ② Develop and apply a corporate philosophy.
③ Apply personal and corporate philosophies as one. ④ Put philosophy into self-directed practice and continual improvement.

Notes

Summary: Philosophy expresses an essence already within us, rather than something imposed from outside. Translating it into personal meaning and using it in each moment's decisions and actions is the essence of philosophy-driven management.